



第5回 暮らし・^{なりわい}生業再建本部会議

日時：令和2年6月15日（月）

部局長会議後

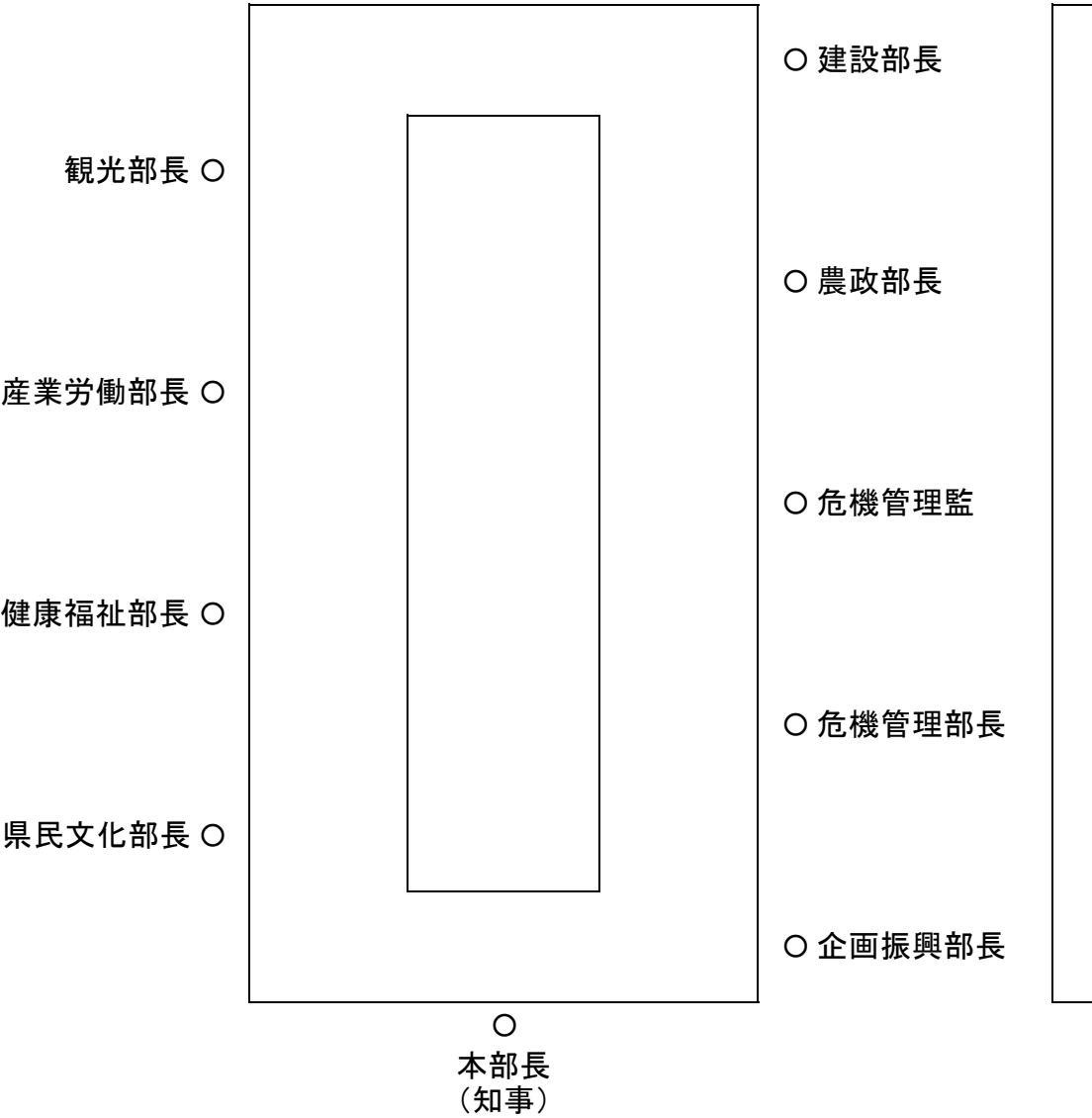
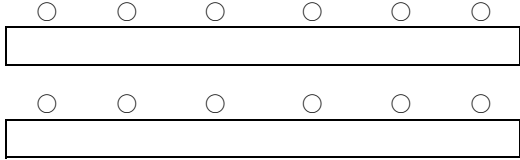
場所：長野県庁3階特別会議室

- 1 「逃げ遅れゼロプロジェクト」について
- 2 復旧・復興に向けた取組の状況・課題、今後の対応について
- 3 その他

第5回 暮らし・生業再建本部会議 席図

日時 令和2年6月15日(月)
場所 県庁3階特別会議室

出入口



出入口

令和元年東日本台風災害を踏まえた防災・減災対策の強化について

長野県危機管理部・建設部

1 課題

- ①浸水区域から 1,700 名を超える者が救助
適時適切でない行動により被災した事例が発生
- ②過密状態の避難所が発生

2 解決のための取組方針

- ①出水期までに、更なる「避難対策」の強化を図る。
- ②避難に係る新型コロナウイルス感染症対策を実施する。

3 適切な避難行動につなげるための主な対策

	住 民	市町村	県
事前対策	○身近な危険を認識 ・自宅や地域に危険はないかの確認 など	○地域の危険の見える化・周知 ・ハザードマップ作成、配布 ・警戒レベルなどの広報	○被害想定等の作成 ・浸水想定区域図の提供 ○集中的な広報の実施 ・テレビ CM・動画作成、各種広報
	○事前に避難を検討 ・避難する必要の有無 ・いつ、誰と、どこへ逃げるのかの確認 ・危険を感じたら 2 階など高い場所へ垂直避難 ・持ち出し品の確認 ・マスクの個人備蓄 など	○多様な避難先の確保・周知と避難所における「3密」回避 ・指定避難所以外の施設確保 ・ホテル・旅館との事前協議 ・車で避難用の駐車場の確保 ・避難所レイアウトの変更 ※収容人員の大幅減に留意	○避難先確保対策を支援 ・避難先確保支援用地図の作成 ・住民向け車で避難・安全確保用支援用地図の作成 ○避難所の感染症対策支援 ・運営マニュアル策定指針改定 ・事前チェックリスト作成
	○避難関連情報の入手 ・災害の情報を入手 ・テレビ、ラジオ、CATV、パソコンやスマホなど複数を確認 ・停電に備え、電源を確保	○わかりやすい表現での情報発信 ・警戒レベルと合わせた広報 ○確実な情報伝達手段確保 ・多重化による確実な情報伝達 ・緊急速報メール等の有効活用	○わかりやすい表現の検討・提供 ・国や報道機関を含めた検討 ○切迫性が伝わる情報発信 ・危機管理型水位計運用・公開 (R2.4:151 河川 約 280 基) ・簡易型河川監視カメラ運用・公開 (R2.4:114 河川 約 170 基)
発災時	○迷わず避難 ・「難を避ける」行動実施 ・避難勧告が出なくても自らの意思で判断・避難 ※「自らの命は自ら守る」	○適時適切な避難勧告発令 ・避難勧告等は躊躇せず発令 ・複数手段による情報発信 ○市町村長自らによる呼びかけ ※事前に時期、内容を検討	○避難勧告等発令への助言 ・対象市町村への支援
	○周りに声をかけて避難 ・避難訓練への積極参加	○「率先安全避難者」選定・指名 ・地区役員等から選任	○「率先安全避難者」制度運用 ・研修の実施 (～10 月)

4 主な対策の実施目標

6 月末を目標に、「逃げ遅れゼロプロジェクト」による事前対策の実施を目指す。
また、これら対策の進捗状況については県と市町村とで共有する。

令和元年東日本台風災害を踏まえた防災・減災対策の強化 ～「逃げ遅れゼロプロジェクト」～

長野県危機管理部・建設部

1 目標

令和元年東日本台風の災害対応の振り返りを踏まえ、次の災害までに取り組むべき課題を整理。

特に、喫緊の課題である「**避難対策**（逃げ遅れゼロ）」に取り組むことで、次の災害における人的被害を最小に抑える。

2 東日本台風における避難の課題と解決への取組方針

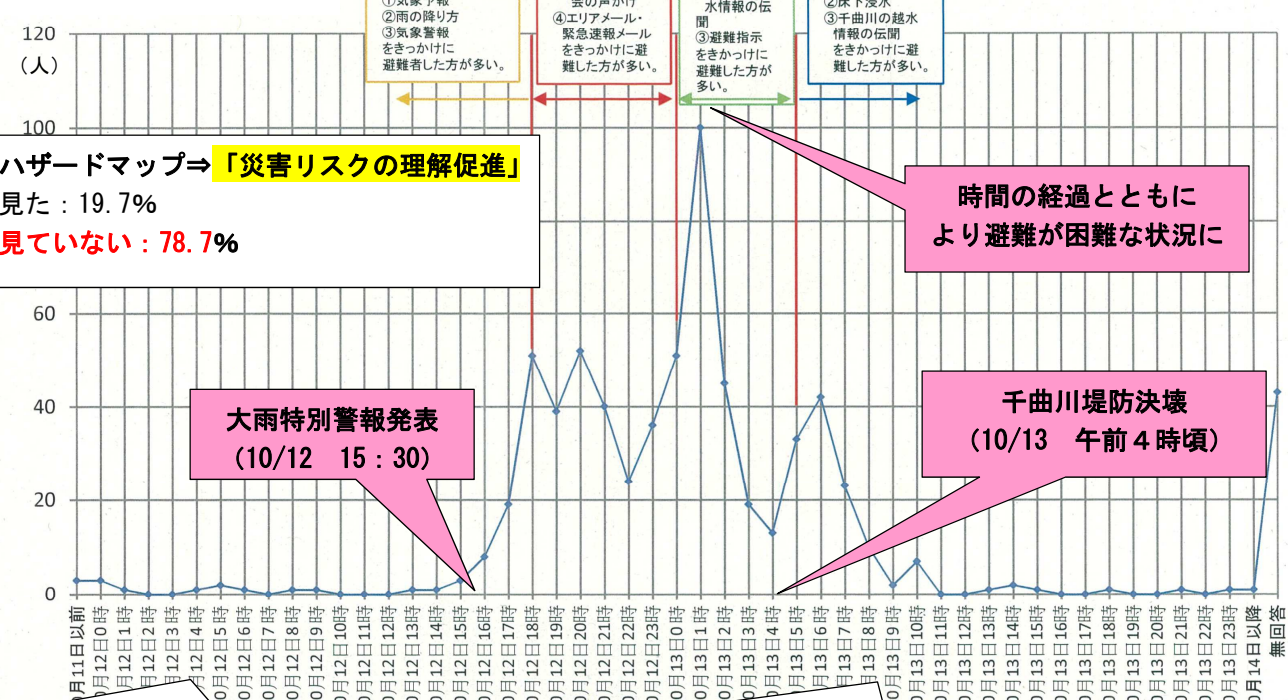
課題：浸水区域から約1,700人が救助

また、**適時適切でない行動により被災した事例が発生**

③避難勧告等の内容のわかりやすさ⇒「**情報伝達と避難行動とを結びつける**」

- ・ 緊迫感が伝わってこないなど、どれくらい危険な状況かわかりにくかった：41.8%
- ・ 自分のいる地区が対象かどうかわかりにくかった：33.5%
- ・ 発令内容をもとに、具体的にどう行動したらよいかわかるようにしてほしい：24.4%
- ・ 聞き取りにくかった：23.8%

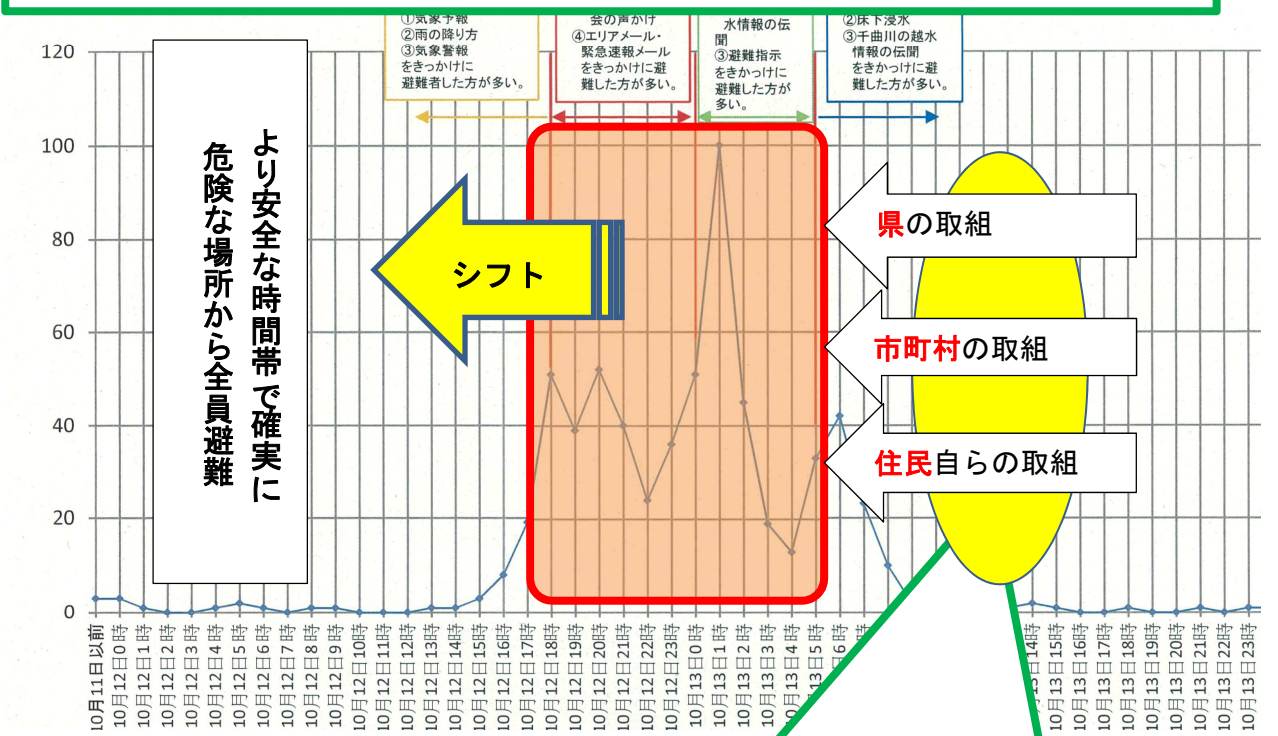
●避難行動を始めた時間



※阻害要因の排除

次の災害に備えた目指すべき姿（達成目標）

県・市町村・住民がしっかりと役割分担を行い、一体となって取り組むことで、避難行動を「**早期の時間・全員避難**」にシフトさせる。



課題解決のために、一体となって取り組むべき事項

1 適切な避難行動の実施

○命を守るための取組と率先避難

- ・ 身近な**危険の認識度向上**⇒「**自らの命は自らが守る**」意識への転換
- ・ 命に係わる**切迫感が伝わる情報発信、確実な伝達**
- ・ 周囲に影響を与える者による**率先避難⇒避難行動の誘発**
- ・ 指定避難所以外への避難、ホテル・旅館など**多様な避難先の確保**

○地域の支え合い

- ・ 共助による避難体制の継続的取組（災害時住民支え合いマップ作成等）

2 避難所における良好な生活環境の確保

- ・ 感染症対策及び災害関連死の防止

※各機関のアンケート調査（対象：長野市）結果より抜粋（未定稿含む）

3 出水期における集中的な取組

主な取組内容		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月～
県	<ul style="list-style-type: none"> ○信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・治水対策、浸水被害軽減対策の実施 ○避難に係る新型コロナウイルス感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・避難関連の指針等の策定、備蓄など ○県・市町村・住民一体となった避難体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「逃げ遅れゼロ」プロジェクトの実施 	ハード対策のほか、危機管理型水位計の運用、簡易型河川監視カメラの運用、水位情報・カメラ画像の公開などソフト対策を実施						
		感染症対策マニュアル等の策定（～6月） 備蓄（消毒液）等	「逃げ遅れゼロプロジェクト」 住民への様々な働きかけ等を集中的に行うとともに適切な避難行動が行えるよう県と市町村とで支援					
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ○避難勧告などの適切な発信、確実な伝達への取組 ○避難所における良好な生活環境の整備 ○住民とのリスクコミュニケーションの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の運営について住民と話し合うなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●信州防災待ったなしキャンペーン（6月～7月に集中） ●避難を促す「避難情報」発信の取組（6月～） <ul style="list-style-type: none"> ・運用ライブカメラ映像の配信（CATVと連携）、HPアクセス集中対策、タイムライン構築など ●率先安全避難者の運用（千曲川、天竜川の浸水想定区域を優先 ～9月） <ul style="list-style-type: none"> ※地区役員、民生委員、消防団員、防災士、中学生などから選定 ●率先安全避難者の研修（7月～） 						
	「信州防災待ったなしキャンペーン」(TVのCM、動画によるバナー広告等) <ul style="list-style-type: none"> ・水害・土砂災害に関するリスクを「ハザードマップ」で確認 ・安全な避難行動を「避難行動判断フロー」で確認 ・避難するタイミングを「避難情報のポイント」で確認 など 	情報伝達方法確立	住民に対する避難勧告等の確実な伝達	住民とのリスクコミュニケーションによる地域で一体となった防災体制の構築				
住民	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの災害リスクを理解する。 ○「自らの命は自らが守る」強い意識を持つ。 ○避難時には皆で声を掛け合う。 	避難に係る新型コロナウイルス感染症対策の実施						
		避難リテラシー（避難に対する基本姿勢の徹底、災害リスクと取るべき行動の理解促進）向上						
		ハザードマップの確認による災害リスクの認知	防災訓練参加	マイ・タイムラインの作成などを通じ、「自らの命は自らが守る」意識へと転換				

4 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの実施

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
 - ・護岸整備、河道掘削、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、遊水地、排水機場整備 など
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
 - ・ため池等の既存施設の補強や有効活用、田んぼダムを活用した雨水貯留機能確保 など
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり・ソフト対策）
 - ・災害の危険度が伝わるきめ細かな情報発信
 - ・水位計、ライブカメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信
 - ・浸水想定区域図の作成による浸水リスク情報の周知 など



※概ね5年間で、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

5 避難に係る新型コロナウイルス感染症対策⇒「3密回避」と「徹底した感染症対策」

- 「3密」回避のための多様な避難対策
- ①可能な限り多くの避難所を開設
 - ②親戚や友人の家等への避難
 - ③車で避難・安全確保の推進

例1 避難所検討支援地図

- 避難所での感染症予防対策
- ①予防対策を徹底した避難所の運営
 - ②避難所用資器材の調達
 - ③保健師等の巡回体制の強化

例2 避難所における感染症対策の一例
レイアウトの変更で3密を回避

レイアウト例（30x24mの体育館避難所を想定） 居住スペースは4㎡/人
収容数 A type：56名、B type：42名、C type：56名（全て同じ type の場合）

図解：A type (2m x 2m), B type (2m x 2m), C type (2m x 2m) の配置と、食卓スペース、本部、トイレの位置を示している。

災害発生時の避難に係る新型コロナウイルス感染症対策について

危機管理防災課

令和元年東日本台風災害では、過密状態の避難所が発生し、また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対策が求められている。

そのため、市町村とともに、災害発生時の避難に係る感染症対策の強化に取り組む。

基本的な方針：「3密回避」と「徹底した感染症対策」

○「3密」回避のための多様な避難

- ①可能な限り多くの避難所を開設
- ②親戚や友人の家等への避難
- ③車で避難・安全確保の推進

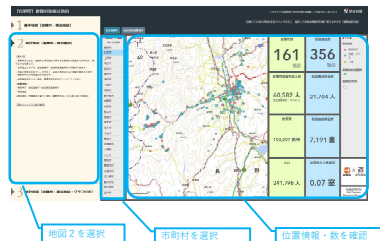
○避難所での感染症予防対策

- ①予防対策を徹底した避難所の運営
- ②避難所用資器材の調達
- ③保健師等の巡回体制の強化

	主な対応策	具体的な取組
多様な避難	多様な避難先の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域の実情を勘案した避難先検討</u> ・ ホテル旅館業者等との <u>事前協議</u> ・ 県「避難所検討支援地図 (Web サイト)」を活用した避難先の確保
	避難所外避難の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県「避難フロー」の配布など、個人による <u>避難先確保を啓発</u> ・ 県「車で避難・安全確保が出来る <u>避難場所マップ</u>」を活用し避難先を周知
避難所対策	避難所内の感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前対策による「3密」の回避 ・ 避難所設置時の予防対策の実施 ・ 体調不良者発生時の対応検討
	感染症対策用の備蓄推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県「<u>避難所運営マニュアル策定指針</u>」等を活用したレイアウト変更など、対策の具体化と職員への周知 ・ 保健師等の巡回体制の強化 ・ <u>計画的な備蓄</u> (マスク、消毒液、体温計、飛沫感染防止用のパーティションなど)

例 1 避難所検討支援地図

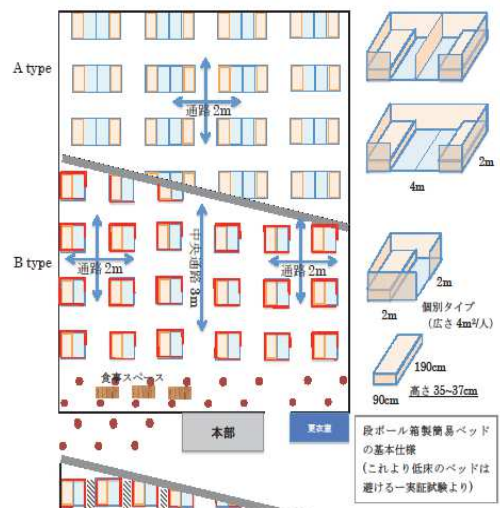
(用例 1) 市町村内の避難所及びホテル旅館の位置、キャパシティの確認



(用例 2) 近隣市町村の指定避難所を確認

例 2 避難所における感染症対策の一例
レイアウトの変更で3密を回避

【レイアウト例 (30x24mの体育館避難所を想定)】 居住スペースは4m²/人
収容数 A type : 56名、B type 42名、C type : 56名 (全て同じ type の場合)



危機管理型水位計の運用状況について

建設部

洪水時は、危機管理型水位計の情報を住民のみなさまも自ら確認し、適切な避難行動に活用してください。

設置・運用状況

計画	運用中	～H30 年度	R 元年度	R 2 年度
300 基	280 基	193 基設置	87 基設置	20 基予定

設置箇所

- ・ 既存水位計周辺への設置（異常値や欠測時への対応）
- ・ 洪水予報河川、水位周知河川でのネック地点への設置（水位情報の確実性の向上）
- ・ 量水標設置箇所への設置（夜間・荒天時の水位情報の拡充）
- ・ 減災協議会での取組方針に基づき、市町村の避難判断に必要な箇所へ新規設置

危機管理型水位計とは

従来の水位計と異なり、常時水位を観測するものではなく、河川の水位が上昇し、洪水時のみに観測・情報提供を行う低価格・低運用コストの水位計です。

水位情報の公開ページ



川の水位情報（パソコン・スマートフォンでご覧いただけます）
<https://k.river.go.jp/>
 ←こちらからアクセスできます

危機管理型水位計の他、通常の水位計や河川監視カメラが同一画面に表示され、見ることが可能です。なお、河川の水位に対応して、アイコンの色が変化し、危険度がわかりやすくなっています。

（画面表示例）



大雨に備える【洪水・土砂災害】

身近な情報を得よう！マイタイムラインをつくり
(いざというときにどう行動するか) 行動できる自分をつくろう！

県内では、昨年の台風の影響により被災した河川の護岸
などがまだ復旧していない場所があります。
**少しの雨でも、河川の氾濫など
災害が発生する危険がありますので、
早め早めに安全な場所に避難**をしてください。

いざというとき、あわてずに行動するための備え・・・

ハザードマップ

自宅が、洪水や土砂災害の危険
がある地域なのか、避難所は
どこなのか、確認しましょう！

市町村の ハザードマップ

※ 台風第19号の被災地では、浸水等がハザードマップ
より広範囲に広がる可能性がありますので、浸水範囲
等の周辺にお住いの皆様も十分ご注意ください。

川の水位情報

河川の水位情報はここから！



大雨時に
確認！
しましょう！

川の水位情報 検索 二次元コード

千曲川など大河川では
6時間先の水位予測情報も配信！

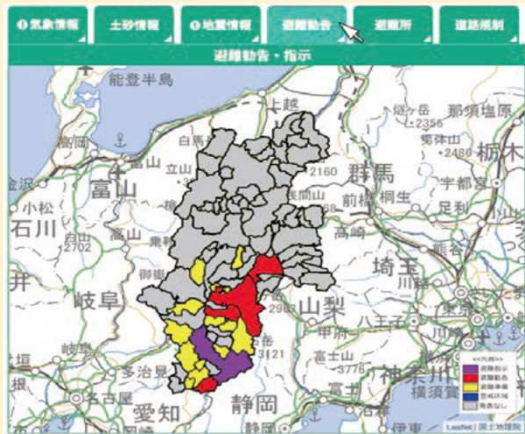
水害リスクライン 検索



二次元コード

長野県防災情報ポータル

避難情報はここから！



<<凡例>>

避難指示
避難勧告
避難準備
警戒区域
発表なし

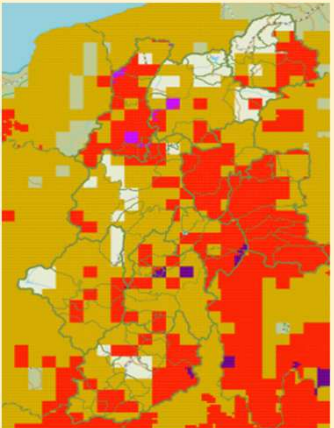


二次元コード

長野県 ポータル 検索

河川砂防情報ステーション

土砂災害の危険度情報はここから！



土砂災害危険度

極めて危険
非常に危険
警戒
注意



二次元コード

長野県 河川砂防 検索

『自らの命は自らが守る』

○ 台風や豪雨時に、あなたがとるべき避難行動を確認してみましょう！

いま
できる
こと

① ハザードマップで自宅の場所を確認！ ※1

はい

② 自宅の場所が着色されている

いいえ

自宅の場所は
1. 周り比べて低い土地や
2. 崖のそば 等に位置している

いいえ

自宅にできるだけ留まり、2階など
のできるだけ高く安全な場所で身の
安全を確保

**災害の危険あり！
安全な場所へ避難が必要！**

【安全な場所とは…】

危険の低い場所

・ハザード着色区域外や避難場所など

・外へ出るのが危険な場合は建物の2階等

【避難とは…】

難を避け、安全を確保すること

③ 避難に時間がかかる方はいるか？（例：高齢の方、体の不自由な方 等）

はい

いいえ

④ 安全な場所に住んでいる 親戚 や 友人宅 に身を寄せられそうか

はい

いいえ

はい

いいえ

安全な親戚や
友人宅へ避難！

指定緊急避難場所※
に避難を！

安全な親戚や
友人宅へ避難！

指定緊急避難場所※
に避難を！

台風・豪雨
発生！

警戒レベル3
避高齢者等
避難開始

警戒レベル4
避難勧告
避難指示

避難する時には、ご近所の方にも一声を！

○ 危険な場所にお住まいの方は、どこに避難するか決めておきましょう！

避難とは「難」を「避」けること！
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

避難先は、小中学校・公民館だけではありません！
安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況下においては、警戒レベル3・4発令時の車による避難及び車内での安全確保も可とします。

長野県 危機管理部・建設部

※1 ハザードマップは「絶対」ではありません。自分の住んでいる場所の危険性を事前に確認しましょう。
また、中小河川の洪水ハザードマップは掲示できていない場所がありますので注意してください。



県管理ダムにおいて事前放流の運用を開始します

一級河川信濃川水系、天竜川水系、木曾川水系において、既存ダムの事前放流等により洪水調節機能を強化するため、河川管理者、ダム管理者及び関係利水者は治水協定を締結しました。

県が管理するダムでは、基準降雨量を上回る降雨が予測される場合に、協定に基づき、あらかじめダムの水位を下げる「事前放流」を実施し、ダム下流の洪水被害の防止・軽減を図る取組を、今年の出水期から開始します。

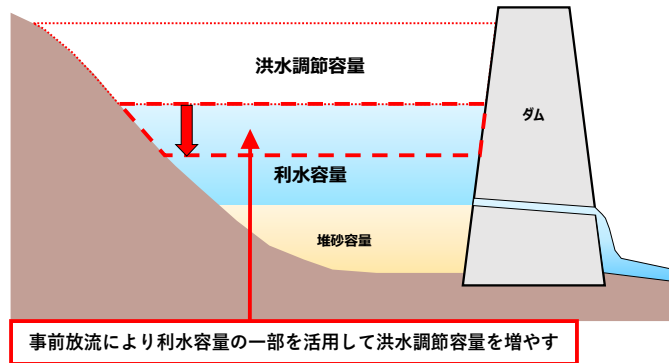
対象ダム

県及び企業局が管理する 17 ダム

古谷ダム・余地ダム（佐久穂町）、湯川ダム（御代田町）、内村ダム（上田市）、金原ダム（東御市）
横川ダム（辰野町）、箕輪ダム（箕輪町）、松川ダム（飯田市）、片桐ダム（松川町）、
奈良井ダム（塩尻市）、北山ダム（麻績村）、水上ダム（松本市）、小仁熊ダム（筑北村）、
豊丘ダム（須坂市）、裾花ダム・奥裾花ダム（長野市）、菅平ダム（上田市）

運用概要

- ① 気象庁が「台風に関する気象情報」や「大雨に関する全般気象情報」を発表
- ② ダム管理者は事前放流の実施態勢に入り、ダム上流の予測降雨量を監視
- ③ 予測降雨量がダムごとの基準降雨量を上回る場合、事前放流開始



洪水調節容量：洪水時に洪水調節を行うための容量

利水容量：水道用水、発電等に利用する水を貯める容量

堆砂容量：土砂が堆積する容量

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

「ONE NAGANO」はみんなで復興に取り組もうという合言葉
一人ひとりがそれぞれの立場で、できることからやってみよう！

建設部河川課治水係

(課長)吉川 達也 (担当)涌井 克明

電話：026-235-7309 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 3442

FAX：026-225-7069

E-mail:kasen@pref.nagano.lg.jp

企業局電気事業課

(課長)小林 史人 (担当)上條 光

電話：026-235-7375 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 3933

FAX：026-235-7388

E-mail:kigyo@pref.nagano.lg.jp

復旧・復興に向けた取組の重点項目

R2. 6. 15 暮らし・生業再建本部

- 取組を進めるに当たっては、市町村と課題を共有し十分に連携を図るとともに、以下の事項について、進捗状況を暮らし・生業再建本部会議等で共有。

【暮らしの支援】

- ・ 災害による健康障害（災害関連死）防止対策 資料①
- ・ 医療機関・福祉施設等の復旧支援 資料②
- ・ 生活再建のための資金の配分 資料③

【住まいの再建の円滑化】

- ・ 住宅再建の促進 資料④

【産業再建への支援】

- ・ 営農再開に向けた支援 資料⑤
- ・ グループ補助金等による事業再開支援 資料⑥
- ・ 観光需要の喚起 資料⑦

【インフラの復旧】

- ・ インフラの復旧 資料⑧

【支援体制の確保】

- ・ ボランティア、NPO等との連携の継続・強化 資料⑨

令和元年東日本台風（台風19号）災害に係る 健康障害の防止に向けた取組

1 生活支援・地域ささえあいセンターによる見守り・相談支援

被災者の孤立防止等のための見守り、日常生活上の相談等の支援を行う生活支援・地域ささえあいセンターが4市町において設置。

県では市町村センター等の活動支援を行うため、「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」を設置。

設置状況

○県生活支援・地域ささえあいセンター

令和元年12月18日設置、統括生活支援相談員2名

○市町村生活支援・地域ささえあいセンター

市町村名	設置日	生活支援相談員数	対象世帯数
長野市	令和元年12月19日	15名	約800世帯
飯山市	令和2年1月6日	5名	約170世帯
佐久穂町	令和2年1月17日	2名	約140世帯
中野市	令和2年2月1日	2名	約90世帯

活動状況

- 市町村センターでは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、
- ・巡回訪問から電話による支援への切り替え
 - ・電話の内容により訪問の必要性があると判断した世帯への自宅訪問
 - ・感染症予防を徹底したサロン活動
 - ・不在等で把握できていなかったみなし仮設入居者に対するアンケート調査（約300世帯を対象に5月実施）等により支援を継続

緊急事態宣言解除等を受け、訪問活動及びサロン活動の段階的な再開のほか、地域の情報を定期的に発信するなどの取組を進めていくこととしている。

- 県センターでは、市町村センターの活動をサポートするため、新規の生活支援相談員を対象とした研修の実施（5/25）、被災世帯への支援検討会議等への参画支援等を実施。

被災市町村の情報共有や連携を図るための連絡会議等を実施し、引き続き市町村センターへの支援を行う。

2 被災者のための「こころ・法律・仕事」の相談会の開催

- 被災者のための「こころ・法律・仕事」の相談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相談会の開催を見合わせており、今後、感染状況を注視した上で、被災市町村の意向を確認し、相談会の開催時期等を調整する。
 - ・ 開催に当たっては、1回の参加人数の制限やビニールカーテンの設置など感染防止に配慮した面談方法等を検討する。

なお、被災者に対する相談支援体制については、「コロナの影響から県民の命と暮らしを守る長野県の取組」に掲載している「Ⅱ 悩みをかかえる皆様を支える体制」を活用いただくことが可能であることから、被災者への周知等を図り、様々なチャンネルから、心の悩みを抱える被災者等に対応していく。

(参考) 令和元年度開催状況

- 開催回数 4回 (R元.12月～R2.1月)
- 相談者・相談件数 相談者19人、相談件数28件
- 相談対応者 精神科医、弁護士、まいさぽ相談支援員、保健師等
- 主な相談内容 自宅の再建費用の借入手続き、不眠等の症状、公共料金の免除等

医療機関・社会福祉施設等の復旧支援について

健康福祉部
県民文化部

I 医療施設（県有施設を除く）

(1) 被害及び復旧の状況

被害状況
病院、診療所、歯科診療所 計 17 施設 ○床上浸水 11 施設 ○床下浸水等 6 施設

復旧状況				
完了	復旧見込み			
	6月 まで	9月 まで	12月 まで	12月 以降
14	-	1	-	-

※一部再開 1 か所（8月頃全面復旧予定）

※廃業 1 か所

(2) 再開に向けた支援の状況

国へ補助金の要望・協議等を実施済み

II 社会福祉施設

1 高齢者施設

(1) 被害及び復旧の状況

被害状況
計 33 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 28 施設（うち利用者向け施設 21） ○床下浸水 5 施設

復旧状況				
完了	復旧見込み			
	6月 まで	9月 まで	12月 まで	12月 以降
26	1	2	3	1

※ 現地で再開していない 1 施設については、他の施設で介護保険サービスを実施中。

※ 2 施設の利用者 21 名が、他の介護施設や病院へ避難中。

(2) 再開に向けた支援の状況

施設の復旧については、国へ補助金の協議を実施済。被災施設の設備・備品の復旧に対し、補助金を交付した。

2 障がい者施設

(1) 被害及び復旧の状況

被害状況
グループホーム、通所施設 計 13 施設 ○床上浸水 8 施設 ○床下浸水 5 施設

復旧状況				
完了	復旧見込み			
	6月 まで	9月 まで	12月 まで	12月 以降
10	2	1	-	-

※ 未復旧の 3 通所施設は、別の場所でサービスを提供している。

(2) 再開に向けた支援の状況

被災施設の設備・備品の復旧に対し、補助金を交付した。

3 児童福祉施設

(1) 被害及び復旧の状況

被害状況	復旧状況		
	完了	復旧見込み	
		R 2 年度中	R 3 年度以降
保育所 計 5 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 4 施設 ○床下浸水 1 施設	長野 1	千曲 1 (10 月) 飯山 1 (プール) (7 月)	長野 1 (検討中) 千曲 1 (R4. 4 月)
子育て支援センター、放課後児童クラブ 計 4 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 4 施設	須坂 1	長野 1 (8 月) 千曲 1 (6 月)	長野 1 (検討中)

※復旧が完了していない保育所は、仮設園舎又は他の施設で保育を実施。子育て支援センター及び放課後児童クラブは他の施設で実施

(2) 再開に向けた支援の状況

保育環境等についての相談を実施。施設の復旧については、国へ補助金の協議を実施済。**被災施設の設備・備品の復旧に対し、補助金を交付した。**

III 県有施設

1 総合リハビリテーションセンター

被害状況	復旧状況・復旧見込み
病棟、施設棟等の 1 階が床上浸水し、受変電設備、ボイラー、機械設備、多数の医療機器等が浸水により故障	○業務の再開状況 <ul style="list-style-type: none"> ・更生相談室の業務を再開（身障手帳の発行、補装具判定等）（令和元年 10 月 16 日から） ・義肢装具所の業務を再開（当面の間、既に受注したもののみ対応）（令和元年 11 月 16 日から） ・外来診療を再開（当面の間、再来患者のみ対応）（令和元年 11 月 11 日から） ・施設部門の入所者等の受入を順次再開（当面は他医療機関に避難していた方のみ）（令和元年 12 月 28 日から） ・病棟での患者の受入を一部再開（令和 2 年 3 月 30 日から） ○施設の復旧状況（令和元年度 11 月補正予算） <ul style="list-style-type: none"> ・病棟・施設棟等の内装工事が完了 ・医療機器を納入済み ・発電機設備等の復旧作業中

※他病院に転院した入院患者、入所者については、医師・看護師等が患者等の状況を確認し、患者の状況とニーズに沿った対応を実施している。

2 障がい者福祉センター（サンアップル）

被害状況	復旧状況・復旧見込み
屋外施設（陸上競技場・テニスコート等）が浸水、屋内施設（体育館、ホール等）は1階が床上浸水し、機械設備や備品の一部が浸水により故障	<p>○一部業務を再開</p> <ul style="list-style-type: none">・北信地域の出張スポーツ教室「サンスポートながの」を再開（令和元年11月9日から）・トレーニング室、卓球室、遊戯室、会議室、宿泊室、アーチェリー場、陸上競技場を再開（令和2年1月11日から） <p>※3月3日から6月1日までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休館。6月2日から一部再開（会議室、アーチェリー場、陸上競技場、テニス場）。</p> <p>○施設の復旧状況（令和元年度11月補正予算）</p> <ul style="list-style-type: none">・エレベーター等の機械設備の修繕が完了・公用車を納入済み・吊天井改修工事で休館していた体育館・ホール・プールは、浸水被害により工期延長及び復旧作業中のため、令和2年6月～8月に順次再開予定（新型コロナウイルス感染症の状況に応じて判断）

生活再建のための資金の配分について

危機管理防災課

1 支援金の支給

被災者生活再建支援法を適用するとともに、法制度の対象とならない被災世帯に対して、信州被災者生活再建支援制度により市町村と一体となって支援を実施

(令和2年5月15日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
被災者生活再建支援制度	国	全壊・大規模半壊	50万円 ～300万円	1,549世帯	1,409件	1,330件	94.3%
信州被災者生活再建支援制度	県 市町村	半壊	50万円	2,339世帯	2,083件	2,076件	99.6%
合計				3,888世帯	3,492件	3,406件	97.5%

2 災害見舞金の支給

国の被災者生活再建支援法及び信州被災者生活再建支援制度の対象とならない被災世帯に対し、市町村と一体となって支援を実施 (令和元年度申請分)

(令和2年3月31日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
災害見舞金	県 市町村	半壊未満の床上浸水	10万円	272世帯	261件	261件	100.0%

3 義援金の配分

- (1) 受付額 2,655,063,550円 (令和2年5月25日現在)
 (2) 配分額 2,138,157,000円 (令和2年2月14日現在)
 (3) 市町村への配分日 第1回配分：令和元年12月13日
 第2回配分：令和2年2月14日
 (4) 被害区分当たりの配分額 (第2回配分までの累積)

死亡	重症	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊・ 床上浸水
825,000円	412,000円	825,000円	619,000円	412,000円	82,000円

- (5) 募集期間 令和3年3月31日まで1年間延長

令和元年東日本台風災害における住宅再建の促進について

令和2年6月15日

住宅支援チーム

1 仮設住宅等への入居状況について（令和2年6月8日時点、戸数）

	入居決定戸数					入居戸数					退去済戸数				
	計	公営住宅等		仮設住宅		計	公営住宅等		仮設住宅		計	公営住宅等		仮設住宅	
		県営	市営	借上型	建設型		県営	市営	借上型	建設型		県営	市営	借上型	建設型
長野市	814	69	76	581	88	743	52	59	550	82	71	17	17	31	6
長野市以外	156	23	78	55		120	18	49	53		36	5	29	2	0
合計	970	92	154	636	88	863	70	108	603	82	107	22	46	33	6

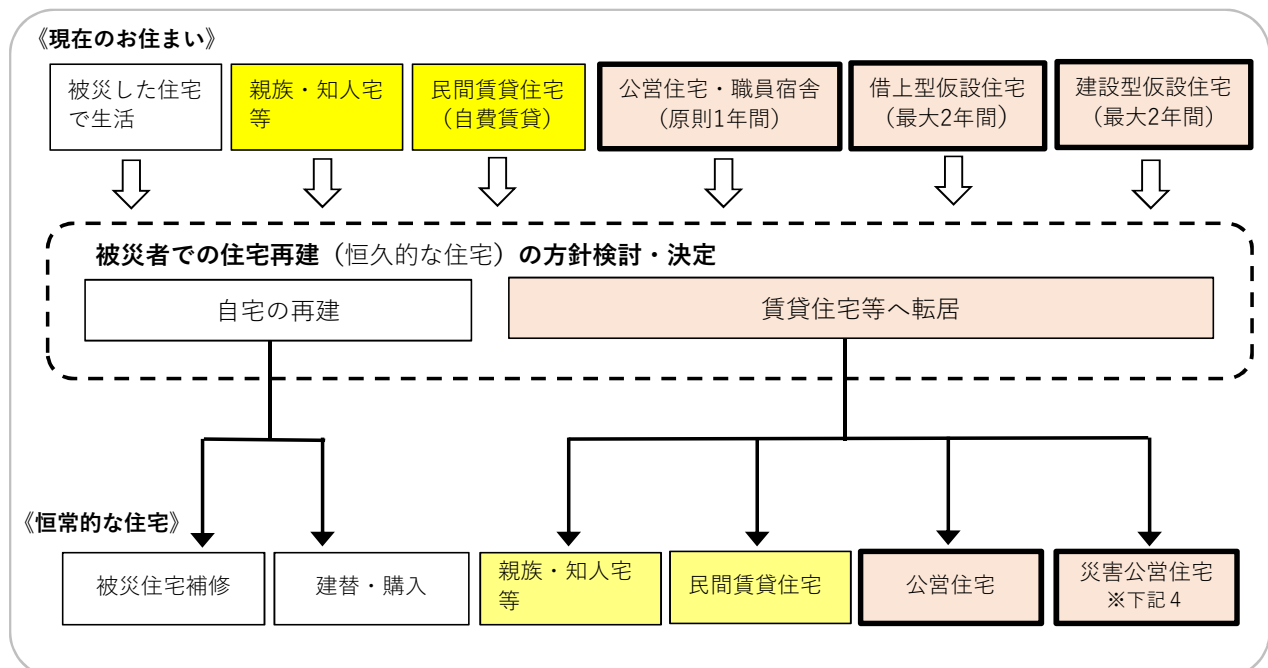
2 住宅の応急修理の状況について（令和2年6月8日時点、件数）

	申込	依頼	完了	完了割合	＜市町村の対応状況＞
長野市	1,151	1,040	847	73.6%	・ 自宅再建希望する被災者のうち、制度未活用者へ、制度周知及び活用促進
長野市以外	648	587	506	78.1%	・ 申込後、依頼（業者と市町村の契約）に至らないケースは、早期手続きを業者に依頼
合計	1,799	1,627	1,353	75.2%	・ 依頼後、完了までに長期間を要している業者への状況確認、早期完了依頼

3 被災者の住宅再建状況の把握

長野市	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月 「住まいの再建に向けたアンケート調査」実施（回収率 64.6%） 対象世帯：全壊、大規模半壊、半壊の全世帯（約2,700世帯） 令和2年6月 3月アンケート未提出者への再アンケートの実施（約850世帯） 令和2年8月頃 第2回アンケート調査実施（予定） ※アンケート調査結果に基づき、住宅部局と福祉部局が連携し、必要な支援を実施中
長野市以外	・ アンケート調査及び個別連絡により状況を把握し、必要な支援を実施中

【今後の対応】



早期に恒久的な住宅に移行できるように、市町村と連携のうえ、被災者の状況を定期的に確認し、状況に合わせた支援を実施

4 災害公営住宅の建設

○美濃和田団地（長野市豊野地区） 63戸（予定）、完成予定 令和3年10月上旬

5 住宅再建に向けた「住宅相談」の実施

総合住宅相談	建築、不動産、税務、法務等の専門家による机上相談	・R2. 1～5月 長野市・千曲市 計5回、相談人数54人 ・長野市 定期的に開催（次回：7月11日（土）豊野地区）
現地相談	被災住家の復旧・復興の具体的なアドバイスを実施	・令和元年10月以降 116件実施、随時受付中

6 災害復興住宅建設等補助金による支援

被災住宅の建替、購入、補修の融資を受けた方へ、利子相当額の一部補助

実績（申請ベース） R2.6.8時点	建替・購入	7件	2,786,165 円
	補修	15件	948,565 円

【令和元年東日本台風】

営農再開の進捗状況について

農政部

1 長野、北信地域の主な状況（果樹、野菜）（5月末現在）

地域	品目	排土の進捗状況		営農再開の状況	
		撤去対象 (農地)	進捗率 (完了予定時期)	防除	摘果作業等
長野市	長沼	りんご 〈堤内地〉 117ha	〈堤内地〉 100%	平年並に実施中 〔防除機械(SS)が間に 合わない農家は、JA のレンタルで対応〕	平年並に実施中
	篠ノ井 ・真島	もも 〈堤外地〉 174ha	〈堤外地〉 100%	平年並に実施中	平年並に実施済み
	松代	ながいも		—	平年並に定植終了
須坂市	りんご もも	〈堤内地〉 3ha 〈堤外地〉 40ha	〈堤内地〉 99%(6月中) 〈堤外地〉 100%	平年並に実施中	りんごは平年並に 実施中 ももは平年並に ほぼ実施済み
千曲市	りんご	〈堤内地〉 2ha 〈堤外地〉 29ha	〈堤内地〉 44%(6月中) 〈堤外地〉 24%(6月中)	平年並に実施中	平年並に実施中
坂城町	りんご	〈堤外地〉 3ha	〈堤外地〉 100%	平年並に実施中	平年並に実施中
小布施町	りんご もも	〈堤外地〉 54ha	〈堤外地〉 47%(6月中)	平年並に実施中 〔排土の遅れている ほ場では手散布に よる防除を実施〕	りんごは平年並に 実施中 ももは平年並に ほぼ実施済み
中野市	りんご もも	〈無堤地〉 30ha	〈無堤地〉 100%	平年並に実施中	りんごは平年並に 実施中 ももは平年並に ほぼ実施済み
6市町村計		452ha	89%		

※撤去対象の農地面積は、農家の意向により増減する可能性がある

※上記以外に、長野市堤外地の大規模流出5ha分は、復旧方針を河川管理者と調整中

2 佐久、上田地域の主な状況（主に水稻）（5月末現在）

地域	頭首工の被災により用水の確保が困難となった農地の状況		
	被災面積	水稻作付けが可能となった農地	代替作物で対応する農地
佐久	4,887ha (100.0%)	4,872ha (99.7%)	15ha (0.3%) 野菜・そば等
上田	2,368ha (100.0%)	2,295ha (96.9%)	73ha (3.1%) 大豆・そば・飼料作物等

※上記以外に、大規模な土砂流入や、農地の流失等で復旧に時間を要する農地が、佐久地域で113ha、上田地域で10haある

令和元年東日本台風に係る産業復興支援の状況について

産業労働部

1 商工業関係の被害状況 (R2. 2. 28現在)

925件、817億4,400万円 (うち中小・中堅企業 888件、464億1,600万円)

※市町村の調査を基に県が集計 (直接被害、推計値を含む)

2 主な支援制度

(1) 実績

支 援 制 度		実 績	
産業復興支援センター相談・申請受付 (R2. 5月末現在)		件 数	4,124 件
中小企業等グループ施設等復旧整備補助金 (グループ補助金) (R2. 5月末現在) 【対象】施設・設備費等 【補助上限】15億円	グループ 認 定	認定数	25 グループ
		構成員	264 者
	補助金 交付決定	件 数	46 者
		金 額	4 億7,095 万円
地域企業再建支援事業費補助金 (企業再建補助金) (R2. 6月交付決定予定) 【対象】広報費、借料、処分費等 【補助上限】3,000万円		件 数	25 者
		金 額	約 2 億円
被災小規模事業者再建事業 (持続化補助金台風19号型) (R元年度事業 (R2. 2月)) 【対象】機械等購入費、修理費等 【補助上限】200万円		採 択 件 数	219 者
中小企業融資制度経営健全化支援資金 (災害対策) (R2. 4月末現在)		件 数	122 件
		金 額	19億516 万円

(2) 内 容

- 商工会等と連携したグループの形成が進み、「グループ補助金」の要望事業者は増えている。また、最新鋭の設備導入等により新たな需要開拓をめざす事業者は、「新分野事業」に取り組んでいる。
- 土砂撤去や仮設設備により早期に仮復旧した事業者や、減少した売上の回復をめざし販路開拓に取り組む事業者は、「企業再建補助金」を申請している。
- 商工会・商工会議所で受付した「持続化補助金」を活用した小規模事業者は、被災後、速やかに再スタートできた。

3 課 題

- 相当数の設備の修理・更新や、建物の全面建替が必要な事業者もあり、事業完了まで伴走型の支援が必要となる。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、資材調達や修繕・工事の遅れ、資金調達等事業計画の見直しが必要な事業者もあり、復旧・復興の長期化が予想される。

4 今後の対応

- 引き続き、事業者や支援機関に出向き、復旧・復興状況や制度活用の進捗状況を正確に把握し、的確できめ細やかな支援に努める。
- 商工会等とともに行政書士等とも連携を図り手続きの迅速化を推進し、11月までには大半の交付決定をめざす。

長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART



願いはひとつ

令和元年東日本台風災害から5か月が経過しました。

被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、被災後、全国から駆けつけてくださった多くのボランティアの皆さんをはじめ、各方面から多くの励ましとご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

「ONE ^{ワン} ^{ナガノ} NAGANO」で生まれた絆を支えに、すべての人が“心ひとつ”に未来へと

進むことにより、この災害を乗り越えていく必要があります。

「長野市復興だより ONE ^{ワン} ^{ハート} HEART」では、長野市の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する話題をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

issue

01

創刊号

01



Hair WAKA
若月 敦 さん

地域の人たちの居場所を作りたい

Hair WAKA は長野市内で最も被害の大きかった津野地区にある理・美容店。8年前に新築した住居兼店舗は床上1.8mまで浸水。高額なシャンプー台を含めほとんどの商売道具を失ったものの、営業再開への熱意をもっていち早く復旧工事を行い、2019年12月末から営業を再開した若月さんに、避難所での生活や今後の課題について伺いました。

避難所の床屋さん

私自身も被災し、避難所で生活する間に、周囲から“髪伸びちゃってさあ”とか、“俺行くところ(床屋)知らねえんだ”という声が聞こえたのが避難所で散髪をやりようと思ったきっかけです。幸い、バリカン、ハサミ、ドライヤーなど必要最低限の道具は、2階に上げて置いたので水没を免れました。“被災者限定”ということで保健所の許可をもらって、11月5日から避難所最終日の11月30日まで週3日、1回1,000円でやらせてもらいました。報道を見たりして皆さん来てくれて、久しぶりに会えて安心しました。



避難所でのカットの様子はテレビなどで報道された

この場所で続けたい

津野で生まれ育って、小さい頃から地域の方にかわいがられてきたので、地域に恩返



明るく温かな店内は地域の人たちの憩いの場

しをしたいですし、祖父の代から長年地域密着型でやって来たので、ここを離れるということは全く考えなかったです。

この辺にはほとんどお店がないんです。だから、髪を切るだけが目的じゃなくて、来れば誰かに会えて、お茶を飲みながらおしゃべりできる場を作りたいと思っていました。実際、別の場所に避難している年配のお客さんが、家族と一緒に車で来て、家族が家の片付けをしている間におしゃべりしながら休んで行ってもらうこともできているので、お店が再開できて本当によかったなと思います。

安心して暮らせるコミュニティを

現在、住居部分は工事中で、アパートから通いながら営業しています。避難所で知り合った新しいお客さんが来てくださったり、

メディアが取材してくださったりとありがたいですが、以前に比べ厳しい状況です。これから地域の方がどれだけ戻ってくるか、不安もありますが、“ここでしか切らない”という地域の人がいる限り、がんばろうと思っています。長沼地区復興対策企画委員会の委員をやらせてもらっているので、地域の皆さんの意見を聴く機会が多いですが、その一番の要望は千曲川堤防の強化です。ぜひしっかりと安全な堤防を建てていただき、また皆で安心して暮らせるようにしていただきたいです。



Hair WAKA

敦さんと母の千恵子さんが理容を、奥さんの延江さんが美容を担当。「お茶を飲んでおしゃべりするだけでもいいから地域の方に気軽に立ち寄っていただければと思います」

長野市津野828-1
TEL 026-296-9633
営業時間：9:00～17:00 定休日：月曜

02



「やっているよ!」と 皆さんに勇気を与えられるように

穂の香
沼倉 洋さん

長野市豊野町にあるベーカリー「穂の香」は、10月13日に床上2mまで浸水し、店舗と工場の全てが水没。翌日から再起のために立ち上がり、3ヶ月後にリニューアルオープンを成し遂げた店主の沼倉さんに、復活にかけた想いなどを伺いました。

人生で二度目の罹災

2015年の10月10日に開店し、ちょうど4周年記念のフェアをやっている最中でした。1階の機械類は全滅でしたが、天井はぎりぎり浸からずに済み、2階の住居部分が生きていたことが救いでした。

私は若い頃、神戸のパン屋で修業していて、阪神大震災を経験しました。あの時に見た悲惨な光景を思い出して、今回は全然マシだと思えるようになりました。自然にはかなわないし、いつまでもいじけてたってしまうと。ただ、お店がなければ収入もないし、遊んでる暇はないので、早く建て直したい一心で、水が引いた翌日から駆けつけてくれた友人たちと壁と床を剥がす作業に取り掛かりました。大工さんにも優先的にやってもらう事ができて本当に運が良かったと思います。



浸水し、什器や機械類が散乱(10月14日撮影)



穂の香の新店舗。看板は友人が作ってくれた

町に明かりを灯したい

被災して3ヶ月後、自分の誕生日でもある1月13日にリニューアルオープンに漕ぎ着けました。まだご近所さんも戻って来てなくて、夜も真っ暗なので、お客さんも来ないだろうと思っていましたが、とりあえず「ここはやってるよ」という事をわかってもらって、安心してもらえればいいという気持ちで開けました。けれど、開店当日にテレビ取材が来てくれたり、いろいろなメディアに取り上げられたおかげで、あちこちからお客さんが来てくれて、予想以上の反響でした。心配してくださった常連さんの中には「やってるんだね」って泣いて喜んでくれる人もいて、開けて良かったなと思いました。

恩を忘れず邁進する日々

リニューアルオープンから2ヶ月ほどが経ち、以前とほぼ同数の50~60種類のパンが並べられるようになりました。パティシエの妻が担当するケーキは焼き菓子の機械や材料がまだ揃っていないので、徐々に再開できるように頑張っているところです。

今回の被災で多くの方々にご心配や励ましの声をいただき、中には、「こういうものが一番いいだろう」と言って小麦粉やパンの材料を大量にかついで来てくれた人もいて、本当にありがたかったです。今度どこかで災害があった時には、自分たちも店を休んでも応援に駆けつけたいと思っています。



穂の香

国産小麦を使用した「穂の香」豊かなパンはご好評いただき、16時~17時頃には品切れで閉店になる場合もあります。ぜひお早めにご来店ください。

長野市豊野町豊野478-33 TEL 026-219-009
営業時間:7:30~18:30 定休日:火曜・第3水曜

「信州地域支えあいキャンペーン」の取組状況

産業労働部・営業局・観光部・農政部

I 信州地域支えあいキャンペーンについて

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年台風第19号災害から地域経済の早期回復に向けた取組を一旦中断することとなったが、5月に緊急事態宣言が解除されたことから、災害復興も含めてキャンペーンにより経済再生に取り組む。

2 キャンペーン概要

地域住民に以下の3点の支え合いアクションを促し、コロナウイルス等により落ち込んだ地域経済の再生の輪を広げる。

「利用する」・・・宿泊施設や飲食店等を率先利用

「購入する」・・・飲食店等が行うテイクアウト等を利用

「支える」・・・クラウドファンディング等で事業者を支援

II 事業概要

1 宿泊施設や飲食店等を地元住民が利用することで支援する取組

○「地域支え合い観光緊急事業」（観光部）

・地域の観光関係者が協働して行う地域内観光客受入再開の取組みを支援

応募件数：39件（6/11現在）

〔事業区分別内訳：感染対策14件、雇用対策：1件、早期喚起7件、新常态15件、その他2件〕
〔実施状況別内訳：事業実施中8件、実施に向けて準備中28件、事業内容検討中3件〕

・事業例

項目	事業団体	事業内容
感染症対策や雇用維持等 観光事業者の経営継続に 資する早期の取組	（一社）ちの観光まち づくり推進機構	観光関連事業者向け感染症対策運営手順 書作成と対策セミナーによる体制整備
	（株）南信州観光公社	地域住民対象モニターツアーで魅力再発 見と安心安全な受入態勢の理解促進
観光需要の早期喚起を 目的とした取組	（一社）長野伊那谷 観光局	(1) 団体バス旅行安全モデル構築のための モニターツアー実施と検証、商品造成 (2) 地元TV局タイアップモニターツアーに よる情報発信と誘客促進
新常态を見据えた観光 コンテンツ開発等の取組	（一社）駒ヶ根観光 協会	3密回避とオーバーツーリズム対策の 予約システム導入実証実験
	須坂市観光協会	地域の観光コンテンツや飲食ポイントを 掲載したデジタルマップの作成

○「長野県民向け長野県ふっこう割」（観光部）

取扱旅行会社：112社、販売状況：98,522千円（6/10現在）

【備考】旅行や宿泊代金を最大1泊5,000円割引。5月26日から販売開始。

- 県産品を食べて！使って！応援 みんなで支えあおうキャンペーン（営業局・農政部）
・花束、牛乳、信州プレミアム牛肉等の消費拡大

県内企業と連携した消費拡大 販売金額：9,767千円（6/1現在）

県庁内における斡旋 販売金額：5,432千円（6/1現在）

- ・「NAGANO マルシェ」（（一社）県観光機構が運営するネット販売）を活用した消費拡大

信州プレミアム牛肉を掲載して銀座 NAGANO の顧客（4,000人）にDMを送付

- 県産花きの緊急消費拡大推進事業（農政部（長野県花のある暮らし推進協議会（仮称）））

メディア等での県産花きの活用促進、公共施設（県内主要駅）での花飾り、医療機関・企業での花活用の提案、小中学校での花育活動を実施

- 「新型コロナ対策推進宣言の店」（産業労働部）

宣言ステッカー40,000枚印刷・配布（5月下旬～）、ダウンロード用ポスターをHP上に掲載

【備考】適切な感染防止策を講じた事業者を応援するとともに、県民の皆様が安心して利用や買い物等ができる環境づくりを支援。事業者には、「#ながのコロナ対策の店」をつけて取組状況をSNSへ投稿するよう呼びかけ。

2 飲食店等が行うテイクアウト等で購入することで支援する取組

- 「テイクアウト信州」キャンペーン（営業局）

取組地域：県全域

掲載サイト数：80 掲載店舗数：約5,000店舗（重複有）（6/11現在）

【備考】県公式HPに特設サイト開設、ハッシュタグ「#テイクアウト信州」をつけてSNSに投稿してもらうことで情報拡散

- 飲食・宿泊業クラウドファンディング活用応援事業（営業局）

主催：長野県のお店にエールプロジェクト実行委員会（経済4団体）

日程：参加店募集6/15～7/3 クラウドファンディング期間7/4～7/29

3 事業者を支える取組

- 宿泊延期促進クーポン券事業（観光部）

申請件数：116件（4,644泊分）（6/9現在）

【備考】県外客に宿泊キャンセルを依頼した場合、後日当該施設で利用できる割引クーポン（1泊3,000円相当）を発行。利用期間R3.1.31まで。

- ハローワークと連携した農家と観光事業従事者のマッチング相談会（農政部）

- ・佐久地域で個別相談会を実施（5月8日@佐久合庁）

求人農家：14経営体 求職者：30名（うち観光関係：5名、交通関係：1名、飲食関係：3名）

【備考】今後、県内5地域（上田、諏訪、上伊那、松本、長野）で個別相談会を実施予定

- 県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業（農政部）

学校給食への信州プレミアム牛肉・信州サモンの提供：約600校

オリジナル教材による食育活動の実施とウェブサイトによる情報提供

○飲食・サービス業等新型コロナウイルス対策応援事業（営業局）

応募事業者：212 グループ（6/4 現在）

【事業内容】 事業者がグループを形成し共同で取組む新事業を支援

・事例

事業名	構成事業者・協力者	事業内容
商店街の空き店舗を活用した テイクアウトマーケットの開設	飲食店(10 事業者)、 タクシー会社	(1)地域の飲食店が提供するテイクアウト商品を駅前商店街の空き店舗を活用してまとめて販売 (2)買い物弱者には地域のタクシー会社と連携したデリバリーも実施 (3)感染防止のため、店内への入場制限なども実施
タクシーを利用した お弁当や生活必需品の 配達サービスの確立	飲食店、酒屋、 タクシー会社	(1)お弁当をタクシーで配達するほか、生活必需品などの配達も併せて行うサービスを構築 (2)配達エリアを中山間地まで広げることで、新しい販路も開拓 (3)一人暮らし高齢者の買い物支援など、地域課題の解決にも貢献
異業種交流による 地産地消ウエディングの提供	飲食店、花屋、デザイナー、 花き生産者	(1)大人数での結婚式が減少傾向を続ける中、小規模ながら歴史的価値のある施設を活用した思い出に残るウエディングを地域の事業者が共同することで開催 (2)地元の食材や花きを活用することで、消費が減少した生産者も支援
オンラインシステムを活用した 温泉街宿泊事業者による 長期滞在型観光への転換	宿泊事業者 (16 事業者)	(1)共同オンラインショップを構築することにより、以下の事業を展開 ①宿泊予約、②宿泊券の事前購入、 ③泊食分離（毎日違う懐石料理が楽しめる）、④オンラインショップのみで購入できるお土産、⑤レンタサイクルの予約
3密を回避した県下初の 合同オンラインライブイベント の開催と新たなファン層の開拓	県内 6 か所のライブ ハウス	(1)来場が難しくなっている県内のライブハウスが共同でオンラインライブ配信を実施 (2)配信に必要な機材を整備し、ライブハウスの文化を新たなファン層にも発信することが可能に

○お宅に届く信州の名産品“信州ふるさと割”事業（営業局）

地域の名物商品や魅力的な商品を「NAGANOマルシェ」（銀座NAGANOが運営する通販サイト）において3割引で販売

6月4日（木）参加希望事業者の募集開始

6月26日（金）「ふるさと割商品」販売開始（販売期間：6/26～12/25）



Build Back Better

よりよい復興を目指して

災害復旧の状況について

インフラ復旧チーム

1 県による対策

(1) 災害復旧事業実施状況 【別添1】

- ・公共土木施設については約8割に着手済
- ・緊急を要する箇所は応急工事実施中
- ・公共土木施設については8月中に全箇所着手予定

(2) 改良復旧事業実施状況 【別添2】

- ・佐久市滑津川等16箇所（市町村2箇所含）で改良復旧事業を実施
- ・仮復旧工事は完了
- ・用地補償が必要な箇所については、用地測量や地域の皆さんと協議実施中
- ・用地内で工事可能な箇所は本工事に着手
- ・令和3年度から令和5年度の完成目標

(3) 災害箇所における住民の警戒・避難体制について

- ・雨量計や水位計、土石流センサー等を設置し、危険な状況となった場合は、あらかじめ構築した連絡体制により避難を呼びかける

2 国土交通省による対策

(1) 千曲川長野市穂保地区の復旧状況 【別添3】

- ・決壊箇所を含む延長140m間の川表側及び川裏側（住宅地側）の法面について、コンクリートブロックによる補強と天端保護工が完了
- ・140m間を含む前後560m間については、川裏側（住宅地側）法面のコンクリートブロックによる補強と天端保護工が完了

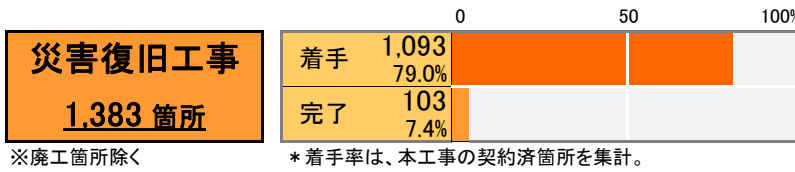
(2) 穂保地区以外の越水による堤防被災箇所 【別添3】

- ・堤防川裏の法面が崩れた4箇所について、コンクリートブロックなどによる堤防補強が完了

(3) 権限代行による災害復旧箇所 【別添4】

- ・東御市千曲川海野地先～田中地先ほか、4箇所で権限代行による復旧を実施
- ・東御市海野地先での復旧工事はコンクリートブロック張工を進め、5月末現在で約7割の進捗
- ・その他箇所についても、概ね工程どおりに進捗

公共土木施設・公営住宅の災害復旧工事の進捗状況

長野県
令和2年5月末時点

期間 R元～R3年度

復旧費 約672億円

※改良復旧費を除く。

地域別 進捗状況

※箇所数により算出。施設復旧箇所数には改良復旧の親災を含む。

地域	箇所数	上段：済・率（本工事着手）		備考
		下段：済・率（工事完了）		
佐久	692	648 93.6%	37 5.3%	
上田	293	146 49.8%	9 3.1%	応急工事を継続実施中であり、残る箇所は非出水期の工事着手に向けて公告準備中
松本	89	37 41.6%	0 0.0%	河川沿いに家屋等がない被災箇所等について、非出水期の工事着手に向けて公告準備中
長野	174	154 88.5%	40 23.0%	
北信	115	94 81.7%	15 13.0%	
南信・大北	20	14 70.0%	2 10.0%	

事業種別 進捗状況

※箇所数により算出。施設復旧箇所数には改良復旧の親災を含む。復旧費は査定決定額による。

項目	箇所数	上段：済・率（本工事着手）		備考 (復旧事業の概要等)
		下段：済・率（工事完了）		
河川 (施設復旧)	801	604 75.4%	24 3.0%	期間 R元～R3年度 復旧費 約323.2億円
道路 (施設復旧)	447	384 85.9%	62 13.9%	期間 R元～R3年度 復旧費 約97.1億円 橋梁：32カ所
砂防 (施設復旧)	46	30 65.2%	0 0.0%	期間 R元～R3年度 復旧費 約15.3億円
砂防 (災害関連等)	23	20 87.0%	0 0.0%	期間 R元～R2年度（災害関連） 復旧費 約41.1億円
都市公園	20	16 80.0%	3 15.0%	期間 R元～R2年度 復旧費 約8.3億円
下水	37	30 81.1%	7 18.9%	期間 R元～R3年度 復旧費 約182.9億円
公営住宅 [団地数]	9	9 100%	7 77.8%	期間 R元～R2年度 復旧費 約3.7億円

農地・農業用施設災害復旧事業の進捗状況

長野県

令和2年5月末時点

全 県 3,667 箇所	着手	2,410		65.7%	41市町村 31,893,913 千円
	完了	1,465		40.0%	

■地域別

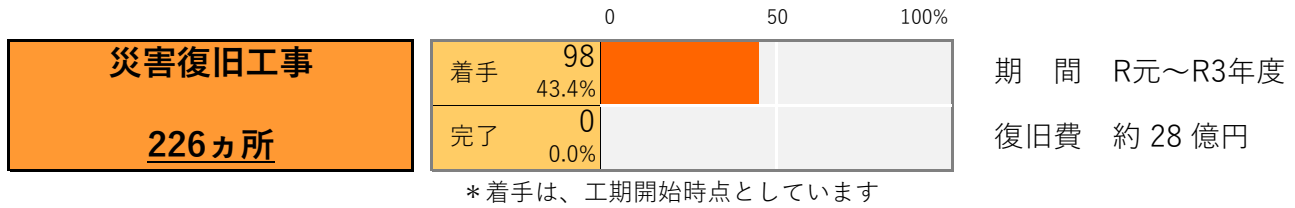
地域振興局	箇所数	上段：工事着手（箇所数）	下段：工事完了（箇所数）	進捗率	進捗率	査定額
佐 久	1,199	701	210	58.5%	17.5%	11市町村 8,607,599 千円
上 田	196	81	18	41.3%	9.2%	4市町村 3,754,404 千円
諏 訪	5	5	1	100.0%	20.0%	2市町村 102,152 千円
上 伊 那	5	5	4	100.0%	80.0%	1市町村 11,030 千円
松 本	32	28	22	87.5%	68.8%	7市町村 147,220 千円
北アルプス	2	2	1	100.0%	50.0%	1市町村 8,735 千円
長 野	1,861	1,473	1,140	79.2%	61.3%	9市町村 16,685,861 千円
北 信	367	363	317	98.9%	86.4%	6市町村 2,576,912 千円

■工種別

工 種	箇所数	上段：工事着手（箇所数）	下段：工事完了（箇所数）	進捗率	進捗率	査定額
田	558	339	211	60.8%	37.8%	3,930,470 千円
畑	2,353	1,747	1,406	74.2%	59.8%	13,033,000 千円
農地 計	2,911	2,086	1,617	71.7%	55.5%	16,963,470 千円
頭首工 (取水施設)	330	297	18	90.0%	5.5%	6,461,962 千円
水 路	224	142	43	63.4%	19.2%	2,262,407 千円
用排水機場	37	33	12	89.2%	32.4%	5,449,844 千円
農 道	140	80	9	57.1%	6.4%	546,235 千円
その他 (ため池等)	25	20	14	80.0%	56.0%	209,995 千円
施設 計	756	572	96	75.7%	12.7%	14,930,443 千円

林務関係災害復旧工事の進捗状況

長野県
令和2年5月末時点



地域別 事業別 進捗状況

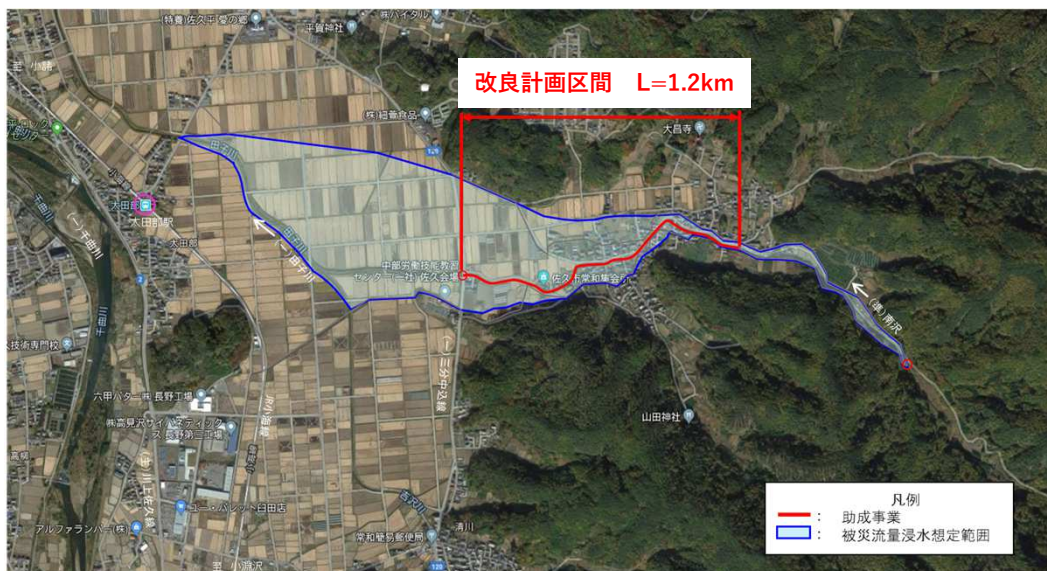
地 域	事 業	箇所数	上 段 : 済・率 (本工事着手)		備 考
			済	率	
			下 段 : 済・率 (工事完了)		
			済	率	
佐 久	治 山	7	7	100%	
	林 道		0	0.0%	
	佐久市	30		0.0%	
	林 道		6	14.3%	
	佐久穂町	42		0.0%	
	林 道		11	47.8%	
	北相木村	23		0.0%	
	林 道		12	54.5%	
	その他	22		0.0%	
	計	124	36	29.0%	
				0.0%	
上 田	治 山	3	2	66.7%	
	林 道		14	35.9%	
	上田市	39		0.0%	
	林 道		16	76.2%	
	長和町	21		0.0%	
	林 道		1	100.0%	
	その他	1		0.0%	
	計	64	33	51.6%	
				0.0%	
そ の 他	治 山	4	4	100.0%	
	林 道		25	73.5%	
		34		0.0%	

■事業内容

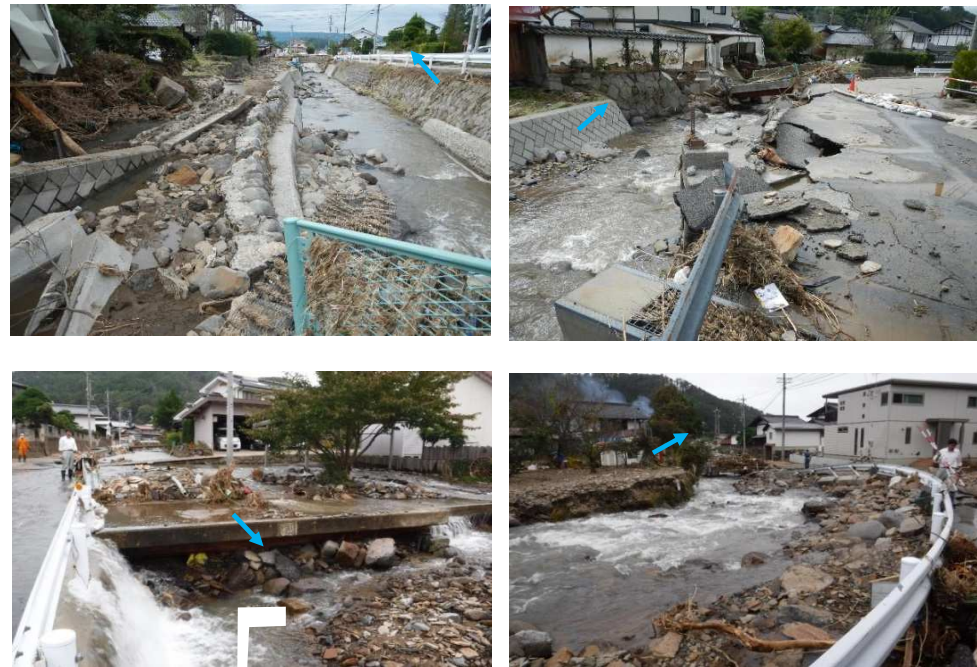
河川断面の「拡幅」による改修を行う。

■取組状況

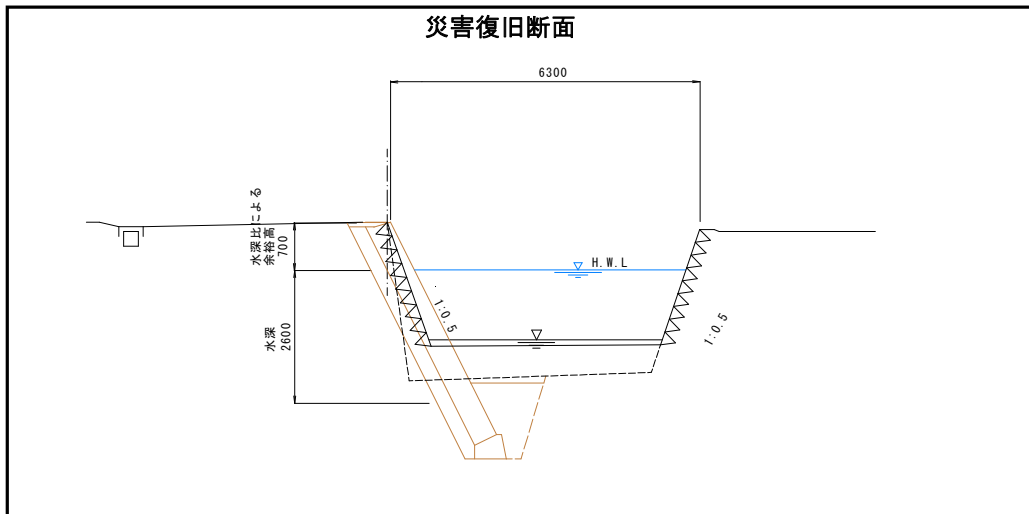
仮復旧工事は完了。用地内で工事可能な箇所から工事着手済み。



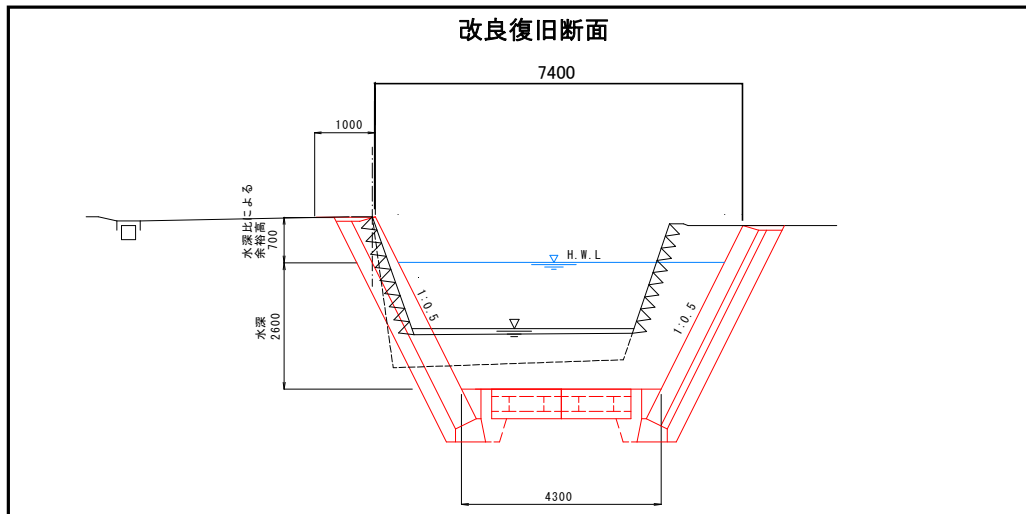
被害状況



災害復旧断面



改良復旧断面



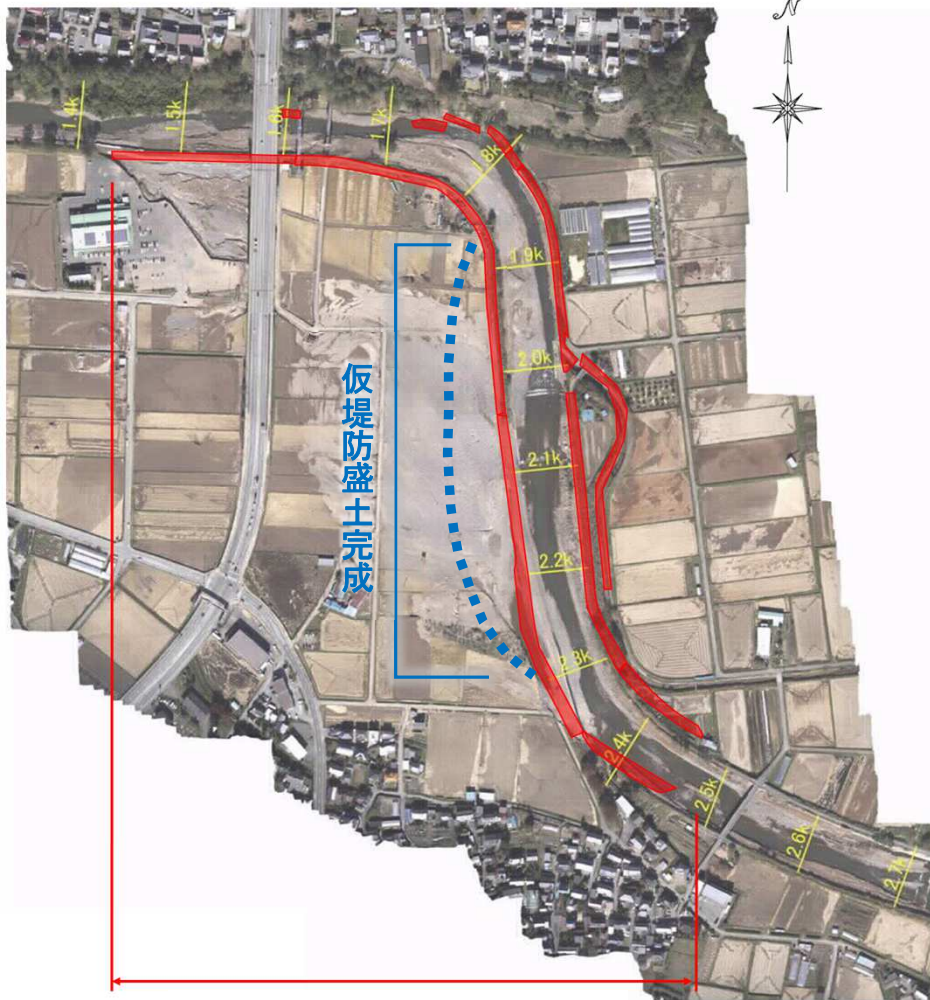
◆令和1年災 災害復旧助成事業 千曲川上流工区(一級河川 滑津川 佐久市 石神)

■事業内容

既設堤防の「かさ上げ」による改修を行う。

■取組状況

現在、破堤箇所の仮堤防盛土完成。引き続き本堤防盛土に着手



改良計画区間 L=1.1km

被害状況



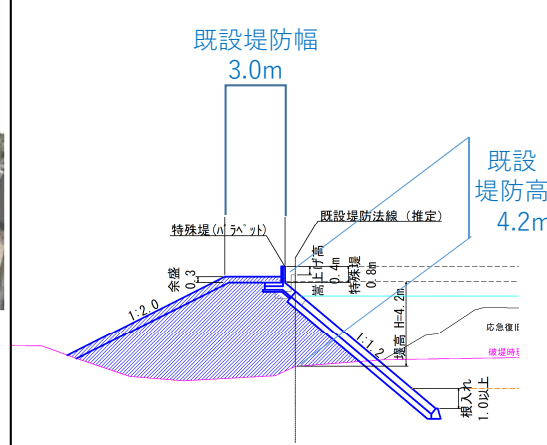
R01.10.13 08:50頃(2.0k~2.4k決壊箇所付近 堤内地)



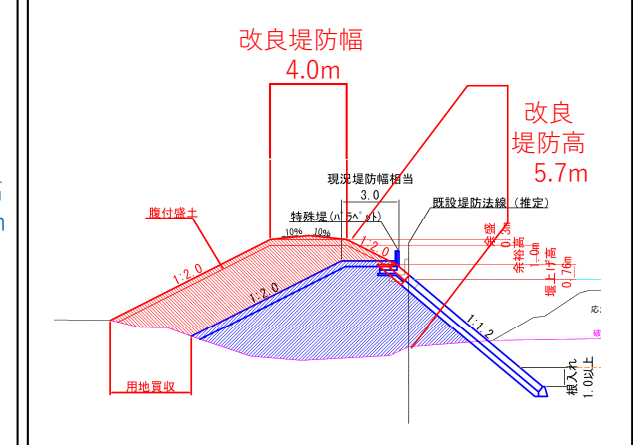
R01.10.13 09:10頃(1.5k決壊箇所下流側 県道139号)



【災害復旧断面】



【改良復旧断面】



◆令和1年災 災害復旧助成事業 千曲川上流工区(佐久市 遊水地)

<遊水池 位置図>



遊水地設置予定箇所

遊水地等の洪水調整施設の整備

●河川水位を低下させるための取組として、遊水地等の洪水調整施設の整備を進めていきます。

遊水地



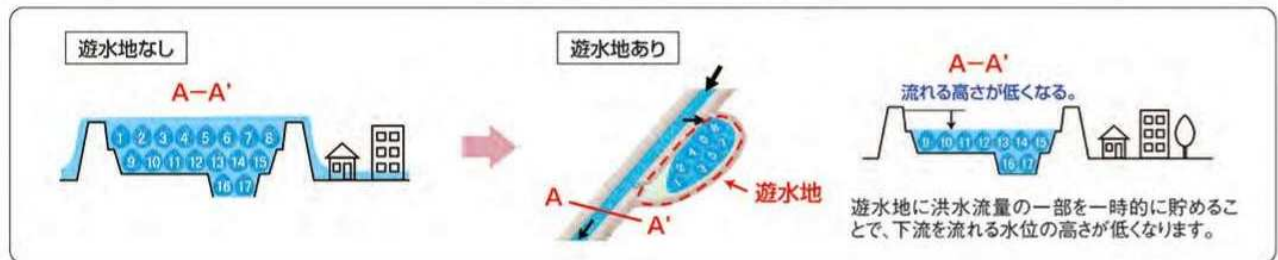
① 普段は、農地などに利用します。



② 河川を流れる洪水が遊水地の越流堤を越えない程度の中小洪水の時は、遊水地内の水をポンプで吐き出し、浸水させません。(洪水調節を開始するまでは遊水地の容量を最大限確保します。)



③ 大きな洪水の時は洪水の一部を越流堤から計画的に遊水地に導き、一時的に貯留し、下流河川の流量を低減させます。



■ 事業内容
洪水調整施設として遊水地を整備

■ 取組状況
事業実施に向け、地元と調整中



国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和2年6月10日

令和元年東日本台風（台風第19号）により『越水』で被害を受けた箇所の復旧工事が概成

千曲川河川事務所では、令和元年10月の台風第19号により被害を受けた堤防等の災害復旧工事を実施しています。

このうち、長野市穂保地区をはじめとする『越水』で被害を受けた箇所については、堤防復旧、川裏側の補強及び天端保護工が完了しました。



↑仮締切堤
(R元.10.30)



堤防復旧完了→
(R2.6.6撮影)

【長野市穂保地区の復旧工事の状況】

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長 吉田 俊康 (よしだとしやす)



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック

千曲川河川事務所


検索


クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



堤防復旧工事実施箇所 信濃川水系千曲川【大臣管理区間】

箇所名	被災状況	被災状況
◆大臣管理区間		
①中野市栗林	堤防川裏法崩れ	 <p>堤防復旧完了 (R2.5.21撮影)</p>
②小布施町大島	堤防川裏法崩れ	
③長野市穂保	堤防決壊・川裏法崩れ	
④千曲市雨宮	堤防川裏法崩れ	
⑤長野市篠ノ井塩崎	堤防川裏法崩れ	





被災状況




堤防復旧完了 (R2.6.9撮影)



堤防復旧完了 (R2.6.1撮影)



被災状況



堤防復旧完了 (R2.5.29撮影)

工事内容

工事名： 令和元年台風19号千曲川権限代行区間(東御市海野地先)緊急復旧工事(その1)

受注者 株式会社 大林組

場 所： 長野県東御市海野地先

工 期： 令和元年10月23日～令和2年12月15日

(進捗率69%)

現在の工事の状況

5月末現在、根固工及び最下段の護岸工の施工が完了しました。
6月から、引き続き護岸工(大型ブロック張)及び盛土工の施工を行います。



現場代理人からのコメント

- ・河川堤防の護岸工事につきまして、特殊機械「スーパーロングアーム式重機」を採用し、法面整形～大型張りブロックの裏込め砕石を一気に仕上げます。これにより、大型張りブロック工事及び付随する盛土工事の作業効率を向上させ工程の短縮を図り、早期復旧を目指しています。
- ・早期の復旧を目指し、全作業員一丸となって工事を行ってまいりますので、引き続きご理解をお願いいたします。

ボランティアの活動状況について

1 ボランティアニーズ

(1) 長野市豊野、赤沼、長沼地区

- ア 長野市社会福祉協議会のニーズ調査では、10世帯が家屋内の壁等のブラッシングや庭の整地などを希望。
- イ 農地復旧は概ね完了し営農を再開。現在は通常の営農作業（消毒・摘花作業等）を農家や雇用従事者が実施しており、農業ボランティアの要請は現時点ではない状況。今後、県社協が関わり、障がい者就労施設と農家との農福連携を進める予定。

(2) 小布施町

農地復旧、流木除去等のニーズに対して、町の災害復旧事業及び日本笑顔プロジェクト（代表：浄光寺林映寿住職）の協働により実施し、6月中に完了予定。

2 ボランティアの活動状況

(1) 長野市社会福祉協議会のボランティアセンターによる取組

- ・ 4月1日から市内在住者を事前登録（6/6現在185名登録済）としており、その中から活動希望者を募集し、6月6日（土）から活動再開
- ・ 6日は、派遣要請のあった9世帯について、ボランティア24名が家屋内のブラッシングやゴミの搬出等を実施。以降、主として土曜日に実施予定。

3 「ONE NAGANO基金」による活動支援

- ・ (特非) 長野県NPOセンターが基金を造成 造成額1,332万円 (R2. 6. 5現在)
- ・ 復旧・復興を支援する団体から申請を受け、第一次で32事業を採択 (R2. 5. 18)
- ・ 支援事例
 - ・ バランスの取れた食事提供と交流の場づくり
 - ・ 被災地におけるこどもカフェ、学習支援活動
 - ・ 地域住民によるワークショップ、防災マップ配布による防災力の向上
 - ・ 学生による介護施設や独居高齢者宅の訪問と交流を通じた心の支援 など

人的被害・住家被害の状況

(令和2年5月15日現在)

1 人的被害 ※4月8日から変更なし

・死者	6名	(±0)
うち災害関連死	1名	(±0)
・行方不明者	0名	(±0)
・重傷者	14名	(±0)
・軽傷者	136名	(±0)

【死者数内訳】

市町村名	数
長野市	2
飯山市	1
佐久市	2
東御市	1

2 住家被害 ※詳細別紙のとおり

・全壊	920棟 (±0)	1,083世帯 (±0)
・半壊	<u>2,510棟 (+5)</u>	<u>2,805世帯 (+37)</u>
・一部損壊	<u>3,463棟 (-16)</u>	<u>3,580世帯 (-34)</u>
・床上浸水	5棟 (±0)	10世帯 (±0)
・床下浸水	1,407棟 (±0)	1,696世帯 (±0)

○人的被害の状況

令和2年5月15日現在

(人)

市町村名	死亡		行方不明	重傷			軽傷		
		うち 災害 関連死			直接	関連		直接	関連
長野市	2		0	8	3	5	92	17	75
上田市	0		0	1		1	5	1	4
須坂市	0		0	0			7		7
中野市	0		0	1		1	0		0
飯山市	1	1	0	1	1		4		4
佐久市	2		0	0			18	18	
千曲市	0		0	0			5		5
東御市	1		0	0			1	1	
川上村	0		0	1		1	0		
佐久穂町	0		0	0			2	1	1
軽井沢町	0		0	0			1	1	
箕輪町	0		0	0			1		1
坂城町	0		0	2	2		0	0	
合計	6	1	0	14	6	8	136	39	97

※重傷及び軽傷の「関連」は、当該災害による避難生活中の負傷等で医師の治療を受け、又は受ける必要のある者のうち、重傷者は1月以上の治療を要する見込みのもの、軽傷者は1月未満で治療できる見込みのもの。

○住家の被害の状況

参考③

令和2年5月15日現在

	全壊			半壊			一部損壊			床上浸水			床下浸水			合計		
	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人
長野市	872	1,034	2,610	1,519	1,737	4,200	1,694	1,694	4,341							4,085	4,465	11,151
松本市							5	5	14				3	20	27	8	25	41
上田市	2	2	6	9	10	18	425	454	1,058							436	466	1,082
岡谷市							4	4	10							4	4	10
須坂市	1	1	3	190	228	579	98	107	284							289	336	866
中野市	8	8	16	63	67	199	37	38	128				17	18	59	125	131	402
飯山市				171	171	420	363	363	1,061							534	534	1,481
佐久市	17	18	49	136	146	339	124	124	321				717	740	1,766	994	1,028	2,475
千曲市	1	1	1	323	346	961	497	551	1,595	5	10	17	523	771	1,399	1,349	1,679	3,973
東御市							7	31	45				2	2	2	9	33	47
小海町				4	4	7	10	10	20							14	14	27
川上村							1	1	4				4	4	8	5	5	12
南牧村							1	1	5				2	2	6	3	3	11
南相木村				1	1	2							5	5	9	6	6	11
北相木村	2	2	4	3	3	6	5	5	8							10	10	18
佐久穂町	12	12	17	52	53	127	5	5	12				72	72	172	141	142	328
軽井沢町				2	2	6	7	7	21							9	9	27
御代田町							1	1	2							1	1	2
立科町				3	3	8	34	34	78							37	37	86
青木村													1	1	2	1	1	2
長和町													26	26	55	26	26	55
辰野町				2	2	7	39	39	111							41	41	118
箕輪町							13	13	36							13	13	36
飯島町							1	1	1							1	1	1
南箕輪村							1	1	3							1	1	3
麻績村													3	3	10	3	3	10
筑北村													4	4	10	4	4	10
坂城町				1	1	3	49	49	124							50	50	127
小布施町	5	5	23	28	28	92	24	24	75							57	57	190
高山村													1	1	1	1	1	1
木島平村							1	1	5							1	1	5
野沢温泉村													27	27	107	27	27	107
信濃町				1	1	2	11	11	24							12	12	26
飯綱町							4	4	8							4	4	8
栄村				2	2	6	2	2	5							4	4	11
合計	920	1,083	2,729	2,510	2,805	6,982	3,463	3,580	9,399	5	10	17	1,407	1,696	3,633	8,305	9,174	22,760



令和元年東日本台風災害 復旧・復興方針 第 7 次改訂について

令和 2 年（2020 年）6 月 15 日
長野県企画振興部総合政策課

令和 2 年度 6 月補正予算案に盛り込まれた取組を追加するとともに、取組の状況を踏まえ、改訂を行いました。

【主な改正点】

- 災害記録のデジタルアーカイブの追加
- その他、支援策等の進捗状況に応じた内容の改訂

※ 復旧・復興方針の本文は、長野県公式 H P において掲載します。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/2019typhoon19.html#fukyuufukkouhousin>